

**記入例****自主企画シンポジウム申込書**

(1枚にまとめてください。)

**企画責任者**

氏名： 福祉 太郎

会員番号 77777

	氏名	所属社会福祉士会	会員番号	所属
コーディネーター	福祉 太郎	〇〇〇	77777	□▽〇〇△
シンポジスト	A〇〇 〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
	B△△ △△△	△△△	△△△△	△△△△△
	C□□ □□□	□□□	□□□□	□□□□□

※枠内には企画責任者およびコーディネーター、シンポジストの氏名を記入しないでください。

**シンポジウムテーマおよびシンポジウムの概要****テーマ：**

入所型施設における苦情解決システムの課題と展望～真の利用者支援の仕組みを目指して～

**シンポジウムの目的：**

利用者支援の仕組みのひとつとして、社会福祉施設においては苦情解決のシステムが導入されているが、真に利用者支援の仕組みとして機能しているのか、ということが課題となっている。本シンポジウムでは、異なる施設において苦情解決にかかわる職員と、第三者委員として活動する社会福祉士がシンポジストとなり、入所型施設に共通する苦情解決システムにおける課題を明確化する。さらに、新の利用者支援となる苦情解決のシステムを実現するために課題会けるにむけた取り組みのあり方を展望する。

**期待する成果：**

現在、社会福祉士が入所型施設の第三者委員として活動しているので、本シンポジウムを通して社会福祉士同士が苦情解決システムにおける課題やその解決にむけた取り組みについて共有化することができる。また、サービス提供者の立場にある社会福祉士にとっても、新に機能するシステムとしての苦情解決のあり方を再検討する機会となり、苦情解決システムを通して社会福祉士としていかに利用者支援に取り組むことができるのかについて、議論を深めることができる。

使用希望の機器の有無：有 (パソコン、プロジェクター)・無配布資料：有・無学会運営委員会への連絡および問い合わせ事項：なし・あり →以下記入**確認事項**

1. 会場の後方まで見えない場合がありますので機材の使用は必要最小限とし、できるだけ印刷した資料をご用意ください。なお、印刷は学会運営委員会や全国大会実行委員会では行いません。
2. 本シンポジウムの場合は、パソコンやプロジェクターを持ち込んでのパワーポイント使用が可能ですが、その場合、機材の設置は発表者でお願いします。
3. 会場によっては持ち込み料が発生する場合がありますのでご注意ください。スクリーンは会場で用意します。

以上のことを確認の上、申しいたします。

企画責任者氏名 (自署) 福祉 太郎